学習情報紙７月号

東部いれこみ情報

NO.２７３　２０２４年（令和６年）７月１日

発行　東部地域振興課

住所　〒７２１－０９１５　福山市伊勢丘６－６－１

電話　０８４－９４０－２５７４　　FAX ０８４－９４７－５６５８

1. 遊歩一景　園（学区）
   1. 綱木に残る舫石　海の名残（蔵王学区）
   2. 記事  
      　西日本農業研究センター（西深津町）東側の丘に建つ惣戸(そうど)神社の参道脇（南蔵王町綱木）に、変わった形をした石が置かれています。これは船をつなぎ留める綱を結ぶ石で、舫石と呼ばれています。  
      　現在の春日･引野･南蔵王･東深津･手城町などの一部はかつては海でした。　平安時代、蔵王･深津の一帯は荘園で、古文書には「備後深津地九十五町、浜六町、山八十九町」と記されています。この「浜」は製塩浜を表し、惣戸神社東側の田園付近にあったと推定されています。  
      　１６００年代、難工事の末に深津高地を掘り切って上井手(うわいで)を掘削し、芦田川の水を引き込むことに成功しました。これで、深津、蔵王、引野などへのかんがい用水が確保され、これらの地域の干拓が進み、かつての海は完全に姿を消してしまいました。  
      　現在も残る綱木の地名は、船をつなぎ留めたことに由来すると言われ、舫石とともに、ここにかつて港があったことを今に伝えています。
2. 夏休み直前　子ども教室　参加者募集  
   見る視る館で環境教室  
   絶滅危惧種　スイゲンゼニタナゴ
   1. 内容  
      　講師の古本さんは、盈進中学高等学校で環境科学研究部の顧問を務め、絶滅危惧種になったスイゲンゼニタナゴの研究を長年続けてこられました。現在、芦田川見る視る館でスイゲンゼニタナゴの飼育をしています。今回は、スイゲンゼニタナゴについてさまざまなお話をうかがい、観察をします。どうぞご覧ください。
   2. 詳細
      1. 講師　古本 哲史 さん  
         プロフィール
         1. 元盈進中学高等学校教諭
         2. 国の希少野生動植物種保存推進員
         3. 広島県野生生物保護推進員
      2. 日時　７月２７日（土）
      3. 受付　９時45分 ～／開始10時終了 11時30分予定
      4. 場所　芦田川見る視る館　福山市御幸町大渡橋そば
      5. 問合せ先 東部地域振興課
         1. 電話：084-940-2574
         2. FAX：084-947-5658
         3. メール：　↓↓↓  
            toubu₋chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp
3. 桜坂ギャラリー企画展を開催
   1. テーマ　性的マイノリティーのメッセージ  
      　　　　～ピア＆アライのにじいろ掲示板～
   2. 内容  
      　ピアは当事者、アライは理解者・支援者をさします。  
      　この企画展は、身体の性・自認性などの種類を問わず、共に前向きに生きられる　社会への理解を深め合えるよう、性的マイノリティの当事者や理解者・支援者からいただいたメッセージを展示します。
   3. 期間　７月６日（土曜日）から７月３１日（水曜日）
   4. 場所　東部市民センター２階　ロビー
   5. 主催・問い合せ先　東部地域振興課
      1. 電話 ０８４－９４０－２５７４
      2. FAX ０８４－９４７－５６５８
4. 地域をつなぐまちづくり紹介  
   旭丘学区のばら花壇の取組  
   　　6月上旬、旭丘小学校の坂の上に位置するばら花壇のお世話をされている三吉さんにお話を聞きました。2017年頃から草木等が生い茂っている状態を整備され、最初はばら苗7～８本を植えて少しずつ増やし、現在は8種類約６０本のばらが咲くそうです。ばらの花を植えるきっかけは、小学校通学路脇の“かずら”繁茂対策だったこと、また、その頃実施した「まちづくりアンケート」で、子どもたちの“花いっぱいの地域になったらいいな”という要望があったからだそうです。  
   　今ではきれいに咲くばらが、住民のみなさんの癒しになっていて、ばら花壇での作業中に小学生からの「がんばって」という声かけもあるそうです。三吉さんはばら100本をめざし、他の花壇も一緒にお世話をする「旭丘ローズフレンド」のメンバーを募集されています。興味・関心のある方の問合せ先です。  
   三吉繫夫さん　電話　090-2296-1609  
   旭丘交流館　　電話　943-9787
5. 培遠中学校のボランティア活動
   1. ボランティア活動をまとめるボランティアリーダー  
      　培遠中学校では、生徒の中からボランティアリーダーを数名募り、そのボランティアリーダーを中心として、学校や地域の環境整備、文化祭・体育祭などの学校行事の準備や片付けなどを行っています。
   2. 活発なボランティア活動  
      　取材に伺った日も、毎月１回行っている学校前の公園の環境整備ということで、公園の草取りを行っていました。  
      　この日の活動は放課後に行われ、授業が終わると、公園には自主的に参加した生徒約１００人とPTAの方が集まりました。そして、一人ひとりが草削りを持ち、みんな笑顔で協力しながら作業に取り組んでいました。
   3. 地域と学校をつなぐボランティア活動  
      　ボランティアリーダーの中でリーダーを務める池田君は「みんなをまとめるのは難しいが、今日も多くの生徒が来てくれて嬉しい。今後も学校や地域をきれいにしていきたい。」と意気込んでいました。  
      　また、菅教頭先生は「生徒たちがこうして進んで出てきてくれることは嬉しい。今後もこうした活動を通して地域と関わっていきたい。」と話していました。
6. 東部管内イベント・講座情報
   1. 春日流館からのお知らせ
      1. 有害鳥獣対策講座を開催します
         1. 内容  
            　害獣（イノシシ・ハクビシン・アナグマなど）による農作物被害や家屋への浸入等が年々ひどくなってきています。野生鳥獣の被害はグループや地域を挙げて取り組む必要があります。野生鳥獣の生態を知り、浸入防止柵の設置や捕獲等の対策方針について考える場をつくり、自分たちや地域でできる活動を見つけていきます。
         2. 日時　７月１３日（土曜日）１０時から１１時３０分
         3. 会場　春日交流館　会議室
         4. 講師　壇上理沙さん  
            　(株)野生動物保護管理事務所　広島事業所
         5. 持ち物　筆記用具
         6. 対象　だれでも参加できます。
         7. 会場・申し込み・問い合わせ先　春日交流館
            1. 電話　084-947-4491
   2. 伊勢丘交流館からのお知らせ
      1. 講座「子育てまんまる広場①」を開催します
         1. テーマ　知っておきたい！あかちゃんと家族の防災
         2. 内容  
            災害時に役立つ赤ちゃんツールの紹介やカンタンクッキングの指導  
            災害時レシピの実演・試食があります
         3. 日時　７月３０日（火曜日）１０時から１１時３０分
         4. 場所　伊勢丘交流館　会議室
         5. 講師　吉田一恵さん（江崎グリコ株式会社）
         6. 定員　１０組
         7. 授乳室を準備しています。
         8. 会場・申し込み・問い合わせ先　伊勢丘交流館  
            電話　084-947-0511
   3. 春日コミュニティ館からのお知らせ
      1. おもちゃ病院と～ぶを開催します
         1. 内容  
            　ボランティアのおもちゃドクターに趣味・特技を生かして、壊れたおもちゃをみてもらいます。子どもたちの『ものを大切にする心』を育みます。
         2. 日時　７月６日（土曜日）１０時から１１時３０分
         3. 会場　春日コミュニティ館
         4. 講師　おもちゃドクター
         5. 対象者　どなたでも
         6. 定員　なし
         7. 参加費　修理代金は無料
         8. 部品代実費（かかる場合は要相談）
         9. 申し込み　不要
         10. その他  
             　取り扱えないおもちゃもあります。その日に治らない場合は、預かって治し後日返却します。
      2. 離乳食講座を開催します
         1. 内容　離乳食期でも食べられるスマッシュケーキのデモンストレーション
         2. 日時　７月２３日（火曜日）１０時から１１時３０分
         3. 会場　春日コミュニティ館
         4. 講師　吉田一恵さん　栄養士・子ども心理カウンセラー
         5. 対象者　乳児期の親子
         6. 定員　なし
         7. 持参物　水分補給のための飲み物
         8. 申し込み・問い合わせ先　春日コミュニティ館  
            電話　084-943-2531
   4. 東部図書館からのお知らせ
      1. 展示「世界バラ会議に向けて」を開催します
         1. 内容　2025年世界バラ会議福山大会と東部地域のばら花壇の紹介展示
         2. 期間　７月１７日（水曜日）から７月３１日（水曜日）
      2. 絵本「ゆうちゃんとまほうのばら　～ばらのまち福山～」の原画展を開催します
         1. 期間　８月１日（木曜日）から８月１９日（月曜日）
         2. 場所　東部図書館　1階フロアー
      3. 認知症サポーター養成講座を開催します
         1. テーマ　認知症を学び　みんなで考える
         2. 日時　７月１１日（木曜日）１０時から１２時
         3. 場所　東部図書館　２階　集会室
         4. 講師　認知症地域支援推進員
         5. 申し込み　東部図書館（電話または来館で）
      4. サロンコンサートを開催します
         1. 日時　７月２３日（火曜日）１４時から１４時３０分
         2. 場所　東部市民センター　１階サロン
         3. 内容　フルートの演奏
         4. 出演　Flute Loquace
         5. 問い合わせ先・申し込み　いずれも東部図書館  
            電話　084-940-2575
7. 特集「アンコンシャスバイアスについて考える」その４  
   成長やチャンスを逃す「無意識の思い込み」
   1. 無意識の思い込みは、気が付かない間に誰かのチャンスや成長を奪うことがあります。例えば、グループでキャンプに出かけたとします。到着すると、テント張りやテーブルなどのレイアウト、カマドやコンロの準備、食材・食器・調理器具の支度など、日常にはない作業が待っています。これらは、おしゃべりしながら楽しめるのがキャンプのいいところです。  
      　さて、誰がどの作業を分担しましょうか？　参加したのは、女性・男性・子ども・おとな…。ロープ結びやナイフの扱い、火起こしや野外料理など、それぞれ得意な人がいると充実したキャンプができるでしょう。一方で、興味があっても「〇〇にはちょっと難しい」「自分には無理」「△△はしなくても大丈夫」の雰囲気があると、あきらめや遠慮につながります。経験の少ないことこそ、教えてもらいながら挑戦できれば、次回は「得意な技」になるかもしれません。  
      　誰もが学び合い、活かし合って楽しめることができれば、今日の社会が理想とする「お互いを尊重し合う」関係になれるのではないでしょうか。
   2. アンコンシャス・バイアスとは、「無意識の思い込み」や「偏見」という意味で、私たちの社会に存在し、誰かの生き辛さにつながることがあります。誰もが幸せに暮らせる世の中であるために、考え合う機会となるよう今年度の記事として特集します。
8. 館野々浜交流館からのお知らせ  
   家族介護者交流教室 を開催します
   1. テーマ　在宅で安心・安全に介護を継続するために
   2. 日時　７月２９日（月曜日）１０時から12時
   3. 会場　野々浜交流館
   4. 対象　在宅で家族などの介護をしている方
   5. 講師　北村 公輔さん（理学療法士）  
      　　　高城 慎吾さん（作業療法士）
   6. 定員　30人程度
   7. 主催　福山市地域包括支援センター引野
   8. 申し込み／問合せ
      1. 野々浜交流館　電話　084-943-9412
      2. 包括引野　　　電話　084-940-5090
9. 動画サイト　YouTube　トーチューブ  
   ショウブの季節に尺八を吹いてみた！
   1. 内容  
      春日池公園のショウブが咲き誇る季節に尺八の演奏をしていただきました。
   2. 出演　小林　聡さん
   3. 配信日時　７月６日（土曜日）９時から
   4. 動画サイト　YouTube
   5. チャンネル　TouTube.f
   6. 問い合せ先 東部地域振興課
      1. 電話：084-940-2574
      2. FAX：084-947-5658
      3. メール：toubu₋chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp
10. コラム　桜のささやき  
    　今年も七夕の季節がやってきます。七夕には諸説言い伝えがありますが、幼い頃、中国から伝わった織姫と彦星の昔話を何度も読み、年に一度しか会えない織姫と彦星が天の川を渡って会うために７月７日の夜は「どうか晴れますように」と思いをはせていたことを思い出します。日本に伝わった七夕の行事は、平安時代には、宮中行事として行われ、桃や梨、なす、うり、大豆、干し鯛、アワビなどを供えて星を眺め、香を焚き、楽器を奏でて、詩歌を楽しみました。江戸時代になり、七夕行事が五節句の一つになると、行事は全国的に行われるようになり、人々は詩歌や習い事の上達を願い、時代と共に七夕行事の様子も変わっていきます。  
    　今年も商業施設には、短冊に願い事を書いて、笹に飾ることができるコーナーがありました。「家族が元気ですごせますように」「クロールができるようになりますように」など様々な年代の方が、カラフルな色の短冊に、ひとりひとり思いを込めて願いを書き、飾られています。  
    　現在の世界情勢や経済、異常気象など私たちの生活に影響が見え、日々向き合わなければいけませんが、七夕の日は、少し空を見上げて過ごしませんか。

視覚障がい等の理由がある人のために，営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。  
以上